

●第20回自然と環境講演会 25人出席 5日はいい天気の日曜日でした。11時にはスタッフの皆さんが早くも集合、会場設営に一生懸命でした。小南先生は車で駆けつけていただきました。定刻になって開会挨拶が深田さんからあって、即、小南先生のメイン講演に入りました。まず今日のお話は大学2回生の皆さんにお話しする程度の内容です。わからない時は途中でいいので、質問をくださいとお断りが最初にありました。前半は地球温暖化の進行について各種データを使って解説がありました。短期間で調査すると確実に温度上昇がみられるが、億年単位で見ると地球の歴史では現在以上の温暖化は確実に存在していたと、データに基づいて説明されました。地球は氷河期にあるので確実に寒くなっていく方向に動いている。続いて森林の役割では森林があれば、二酸化炭素は減少するものと考えるのは正確ではないと思われる、とお話がありました。続いて竹門先生から竹蛇籠の設置の目的や狙いについて改めてお話があり、設置前の環境調査と設置後の調査では確実に大きな変化が見られた、と詳しくデータで解説された。里山の会がまさに全力を発揮して、夏の名残りの暑い9月に竹の切出しや竹割り作業を行ったこと、竹蛇籠づくりの準備作業によって大きな効果を発揮していると高い評価がされました。さらにこの竹蛇籠が増水して流失しないうちに、できるだけ多くの皆さんと一緒に調査をしましょうと呼びかけられました。この日、竹門先生と学生さんが蓄積されたデータは非常に貴重な資料でした。

●関西元気な地域づくり発表会 今年も発表 3月14日(月) 13時から17時です。

近畿地方整備局主催で毎年行われて、今年は11回目です。昨年は地域部門に初参加でスマイル賞を受賞できました。今年は「竹蛇籠づくりとオオムラサキ観察会」を播川司副理事長が8分間の発表予定です。ポスター部門も同名の展示発表を行います。二つの発表を合わせて評価され、評価されて表彰が行われます。会場は大阪の天満橋の国交省近畿地方整備局が入る会館です。数多くの団体の発表を目と耳で接することが出来て、見聞を広げられるととてもいい機会です。里山の会がどのような立ち位置にあるのかを知ることが出来るととてもいい機会です。応援にお越しく下さい。

●淀川河川公園地域協議会 3月4日 13:30～上流域センター(伏見三栖閘門)上流域センター

八幡と大山崎にかかる旧1号線の御幸橋の背割り堤の東側の三角地を利用して流域センター(仮称)が建設されて、来年3月にオープン予定です。研修室や会議室広場あって29mの展望台が計画されています。この施設の説明と運営などについての久御山町や大山崎町、八幡市等各自自治体、大阪府や京都府からと学識経験者が出席する公園協議会が開催され、深田・播川・山村・南良さんが傍聴しました。何を目的にした施設なのか、詳しい説明はなく、野菜の販売朝市が考えられているようでした。

●カスミサンショウウオ調査観察会 11日は事前調査で、12日は本番観察会で 両日とも桜谷先生が出席いただきます。桜谷先生は、なんとしてもカスミサンショウウオの生息地の確認をと、すごい熱意をお持ちで御参加いただきます。今回は普賢寺地域の生息可能と思われる地域を踏破して、再発見をと情熱を燃やしておられます。ぜひとも多くの皆さんのご参加をお待ちしています。絶滅寸前種とされ、京都府の絶滅する恐れのある生き物とされている生きものです。集合は11日12日とも午前10時普賢寺小学校前です。用意するものは、弁当、歩きやすい服装、汚れてもいい服装、手袋手拭もご持参ください、帽子も必要です。午後4時までのいずれの時間帯でもいいので、ご連絡ください。山村の携帯電話へご連絡ください。連絡いただいた時間帯で調査場所を連絡します。

●里山農園 春の野菜の植えつけにご参加を 13(日) 前号でもお知らせしましたが13日の日曜日午前10時から里山農園でジャガイモの植え付けを行います。約300株を準備しています。作業は軽作業です。お子さんでも植え付けが可能です。心を込めて植え込みましょう。美味しいジャガイモが出来ます。

●近畿子どもの水辺 第5回実行委員会 16日(奈良大会の総括反省) 「第8回近畿子どもの水辺」交流会が1月23日奈良文化ホールと奈良公園を会場にして約400人の参加を得て盛大に開催されました。奈良公園にある不思議な木や大きな木を訪ね、公園を流れる小川で魚を見つけたり、飛火野では鹿とたわむ

れたりしました。次回9回目は兵庫県が当番で、二順目最終回の開催準備が始まっています。広い近畿地方の子どもたちが一堂に会して川や水辺での取組み経験を通じて得た喜びや発見を述べ合って交流を深めました。初めて屋外での取組みをした奈良から学ぶものは、子どもも大人も多かったと思われます。いい教訓に期待をしています。

●**全国川に学ぶ 近畿大会実行委員会** 開催日は9月3日・大交流会（会場・摂南大学）、4日エクスカッション大阪（大川・毛馬）、京都（八幡。宇治・伏見・京都）、滋賀（琵琶湖案内・琵琶湖遊覧船）です。かつて2000年に八幡市文化ホールで『川に学ぶ』シンポジウム in 近畿が開催され、発足して間もない里山の会は、木津川での植物採取や観察会を寸劇にして、厚かましくも舞台発表をしました。ポスター発表では木津川での植物観察会の成果を展示しました。ここから里山の会が水に関わっていく最初の入口でした。その後NPO団体への歩みを深め10年目には木津川の草花たちの発刊に繋がります。そして河川レンジャーに参加してさらに木津川での魚とりを企画し、レンリソウの発見へと進みます。農園での活動や炭焼き体験など昆虫観察、オオムラサキの発見カスミサンショウウオの発見と活動幅や窓口も大きく広がっていくことになります。それから約10年がたって、久しぶりに全国的な集いの開催が決まりました。琵琶湖淀川流域圏連携交流会の一員として、里山の会も積極的に全国の仲間との交流を深め、学び合いましょう。なかなかこう言った機会は少なく、大いに期待しましょう。

●**マラソン大会第4回実行委員会 19日(土)17時に開催される** 33回大会から早くも2ヶ月が過ぎようとしています。非常に忙しかった準備から早いもので5週間が過ぎてしまいました。33回大会はこれまでとは違って大変多くのことを学ばされ、かなり正確に振り返り整理できた大会でした。また新しい取組みも順調に軌道に乗りはじめ、苦労や心配、不安も数多く発見されますが順調にいい競技会へ進歩しているのではないのでしょうか。得られた教訓を生かして34回大会への取組みをはじめましょう、全国でも数少ない初心者歓迎の制限時間の無いマラソン大会のさらなる発展を目指して積極的なご意見をお寄せ下さい。みなさまのご参加をお願いします。

●**親子花見乗船体験 3日(日) 馬坂川清掃と前日準備 27日(日)9時～12時** 今年の桜の開花予報は3月28日と報道されています。去年は早い開花でしたが、直後の低温が続く一揆の満開にならず長い開花が続きました。4月5日は散り始めて川面には花筏が川面を彩りました。今年の開催は少し早い3日を予定しています。多分満開の時期になるでしょう。親子で楽しいひと時を水面から桜を眺められるいい時間にしましょう。参加申込みが必要ですから、手続きを正確に行ってくださいね。ご参加を予定しておいてください。

● **2015年度第3回理事会** 3月25日(金) 3時より 中央公民館で次年度活動方針案決定されます。

● **2016年度・23回通常総会**は4月23日(土)9時30分京田辺市中央公民館で開催予定です。3月10日の事務局会議で2016年度の活動方針案作成のための素案が提案されました。これまでは事務局会議で方針の具体化を討議してきましたが、そこには担当責任者がおられずに事業の推進が行われていました。こうした不自然さの解消への様々な提案がありました。

●**イノシシ2頭目を捕獲** 5日に里山農園のオリで3週間ぶりに、2頭目のイノシシを捕獲しました。全国的に農産物の被害が大きな問題になっています。農水省の調査によると、シカによる被害が約76億円、イノシシが約55億円、カラスが約18億円、サルが約13億円、その他鳥類が約17億円となっています。